

産地全体で天敵を活用する減農薬オクラ

【鹿児島県指宿市の産地での取組】

- ・鹿児島県の指宿地域は、全国のオクラの約4割を生産しているオクラ産地です。
- ・JAいぶすきオクラ部会を中心に、化学農薬の使用量を低減するために、露地栽培では全国でも類を見ない、土着天敵を活用した害虫防除技術の導入と普及を産地全体で進めています。

【土着のテントウムシたちを活用】

- ・その技術とは、オクラの害虫である「アブラムシ」を、複数の土着天敵（テントウムシなど）で防除していることです（IPMの一つの防除法）。
- ・オクラの種子を播種する時期（3月下旬～6月）に、畑の周りにテントウムシたちの住みかになる作物（ソルゴーなど）の種子を播き、ソルゴーなどにやって来る、オクラには害のないアブラムシ類を餌に、テントウムシたちが集まって来ます。
- ・このテントウムシたちが、オクラにやって来るアブラムシを捕食します。
生産者は、アブラムシ以外の害虫が発生した時は、テントウムシたちに影響のない選択的農薬で防除します。
- ・JAいぶすきオクラ部会では、取組を始めた平成26年は0.5haでしたが、現在約52haで取り組まれており、アブラムシの防除回数は1/3にまで削減されています。



オクラ畑とソルゴー



防除回数の比較



土着天敵
(上:ナナホシテントウ、
下:ヒメカメノコテントウ)

【取組のPR】

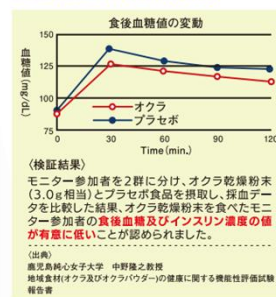
- ・消費者へのPRも工夫しており、専用の出荷袋（QRコード付き）を作成したり、オクラの血糖値上昇抑制効果の検証結果や、開発したレシピについても発信しています。
- ・これらのオクラは、主に関東、関西、九州地区に出荷されています。

・今後に向けて、産地の皆さんは、春夏作のオクラのみならず秋冬作のマメ類にまで、年間を通して土着天敵を定着させる努力を続けています。
また、みどりの食料システム法の「みどり認定」を受けるなど、「環境にやさしい産地」としての取組をさらに進めています。



専用の出荷袋
(QRコード付き)

血糖値上昇抑制効果



オクラピザ

材料	分量	材料	分量
オクラ	3本	オリーブオイル	15g
塩	少々	塩	少々
パルメザンチーズ	10g	パルメザンチーズ	10g
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本
オクラ	3本	オクラ	3本

1. 材料を準備する。生地のオクラをみじん切りにする。電子レンジで加熱する。
2. 生地の上に材料をすべて盛り入れ混ぜ合わせる。ボウルに人肌程度の湯を入れ10～15分浸す。
3. 電子レンジで加熱する。オクラの水分を飛ばす。フライパンにオリーブオイルを熱し、オクラを炒める。塩を少々加える。オクラを炒め、オクラの水分を飛ばす。
4. オクラを炒めたオクラをオクラの上にのせる。2.のオクラにオクラをのせておく。3.のオクラをのせておく。オクラをのせておく。
5. 焼き網のバリエーションをみる。